

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公表番号】特表2002-503228(P2002-503228A)

【公表日】平成14年1月29日(2002.1.29)

【出願番号】特願平10-550697

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 223/14

A 6 1 K 31/475

A 6 1 K 31/55

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00

C 0 7 D 223/32

C 0 7 D 401/06

C 0 7 D 487/04

【F I】

C 0 7 D 223/14

A 6 1 K 31/475

A 6 1 K 31/55

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 223/32

C 0 7 D 401/06

C 0 7 D 487/04 1 3 7

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月23日(2005.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成 17.5.23 日

特許庁長官 小川 洋 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第550697号

2. 補正をする者

事件との関係 出願人

名 称 ザ スクリップス リサーチ インスティテュート

3. 代理人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号  
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

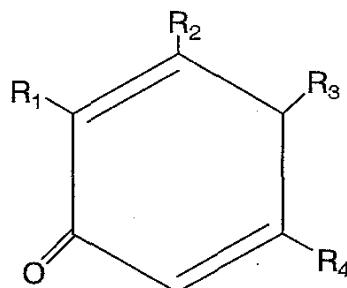
6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容 別紙記載の通り



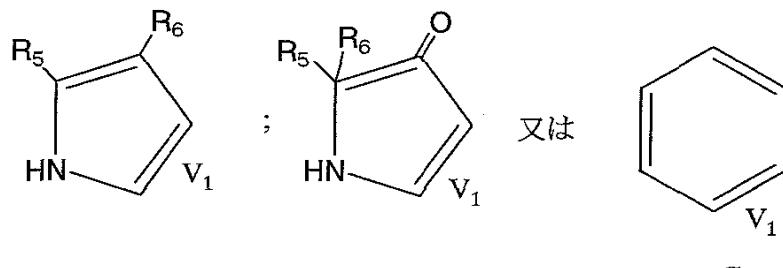
## 請求の範囲

1. 下記式で示されるが、(+)-CC-1065、(+)-デュオカルマイシンS Aまたは(+)-デュオカルマイシンAでないことを特徴とする化合物。



(式中、当該化合物は、R<sub>1</sub>とR<sub>2</sub>との間で第一のビニレン基V<sub>1</sub>をもつ第一の環と融合しており、

当該第一の環は下記構造A、BまたはCの1つであり、



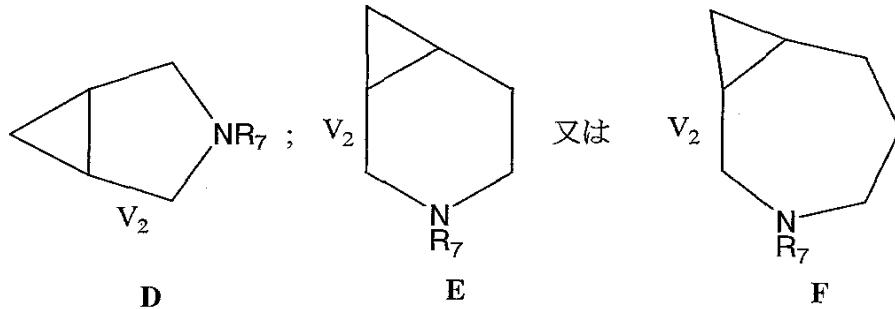
A

B

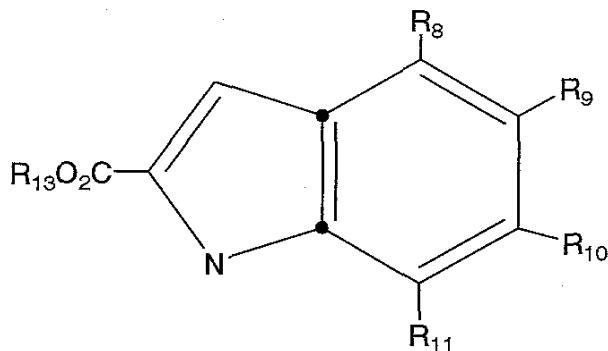
C

当該化合物はまた、R<sub>3</sub>とR<sub>4</sub>との間で第二のビニレン基V<sub>2</sub>をもつ第二の環と融合しており、

当該第二の環は以下の構造D、EまたはFの1つであり、



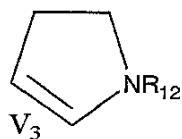
$R_5$ は水素、 $-CO_2(C_1-C_6(\text{アルキル}))$ または以下の構造Gによって表される基であり、



$R_6$ は水素または $C_1-C_6(\text{アルキル})$ であり、

$R_7$ は $-H$ 、 $-CO_2(C_1-C_6(\text{アルキル}))$ 、 $-CO(C_1-C_6(\text{アルキル}))$ 、 $-CO_2-\text{tert-ブチル}$ 、または $-COR_{14}$ であり、

$R_8$ は水素または以下の構造Hによって表される第一のN-置換ピロリジン環であり、該N-置換ピロリジン環は $R_8$ と $R_9$ との間で第三のビニレン基 $V_3$ において融合されており、



H

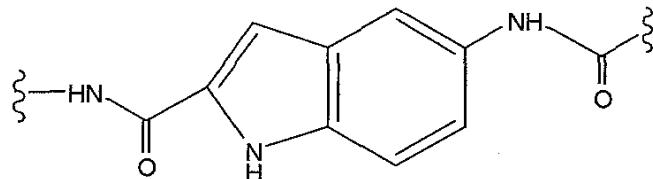
$R_9$ は $-NH-C(O)-$ であり、

$R_{10}$ および $R_{11}$ はそれぞれ独立して水素、 $-O-C_1-C_6(\text{アルキル})$ または $-C_1-C_6(\text{アルキル})$ であり、

$R_8$ 、 $R_{10}$ および $R_{11}$ がそれぞれ水素である場合は、 $-NH$ 基は $R_9$ 位で直接Gに結合し、 $C(O)-$ 基は $R_5$ 位で第一の環に直接結合しており、

当該第一のN-置換ピロリジン環基Hは、 $R_8$ と $R_9$ との間で第三のビニレン基 $V_3$ において融合しており、

$R_8$ 、 $R_{10}$ および $R_{11}$ がそれぞれ水素である場合は、下記構造 I によって表され、



I

ここで、 $-NH$ 基は $R_9$ 位で直接Gに結合し、 $C(O)-$ 基は $R_5$ 位で第一の環に直接結合しており、

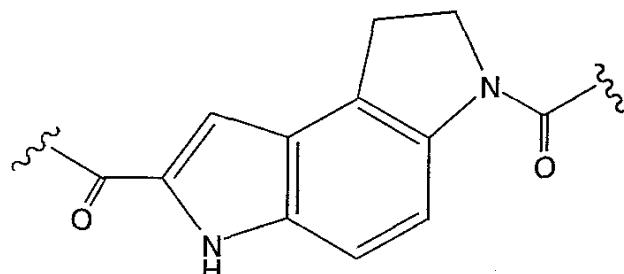
ただし、

$R_8$ が第一のN-置換ピロリジン環に加わっている場合は $R_9$ もまた第一のN置換ピロリジン環に加わり、

$R_9$ が第一のN-置換ピロリジン環に加わっている場合は $R_8$ もまた第一のN置換ピロリジン環に加わり、

$R_8$ および $R_9$ が第一のN-置換ピロリジン環に加わっている場合は $R_{10}$ および $R_{11}$ は水素であり、

$R_{12}$ は $-C(O)-$ および下記の構造 J で表される二価の基であり、

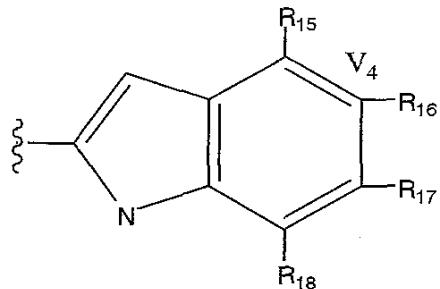


J

ここで、 $-C(O)$ 基は $R_{12}$ 位でHに直接結合し、 $N-C(O)-$ 基は $R_5$ 位で第一の環と直接結合しており、

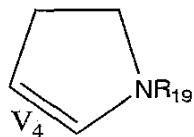
$R_{13}$ は水素または $C_1-C_6$ (アルキル)であり、

$R_{14}$  は水素、  $C_1 - C_6$ (アルキル)、  $-O-(C_1 - C_6$ (アルキル))または下記構造 K で表される基であり、



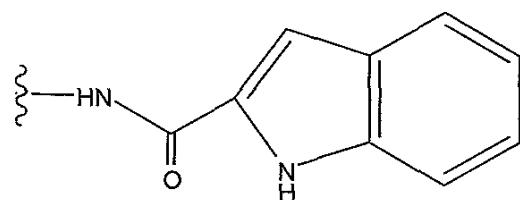
K

$R_{15}$  は水素または下記構造 L によって表される第二の N-置換ピロリジン環であり、当該ピロリジン環は  $R_{15}$  と  $R_{16}$  との間で第四のビニレン基  $V_4$  において融合しており、



L

$R_{16}$  は  $-O-(C_1 - C_6$ (アルキル))、  $C_1 - C_6$ (アルキル)、  $NH_2$  または当該第二の N-置換ピロリジン環基 L であって、  $R_{15}$  および  $R_{16}$  との間で第四のビニレン基  $V_4$  において融合しているものであるか、または下記構造 M で表される基であり



M

ここで、 $R_{15}$ 、 $R_{17}$  および  $R_{18}$  がそれぞれ水素の場合は、 $-NH$  基は  $R_{16}$  位で直接 K と結合しており、

ただし、

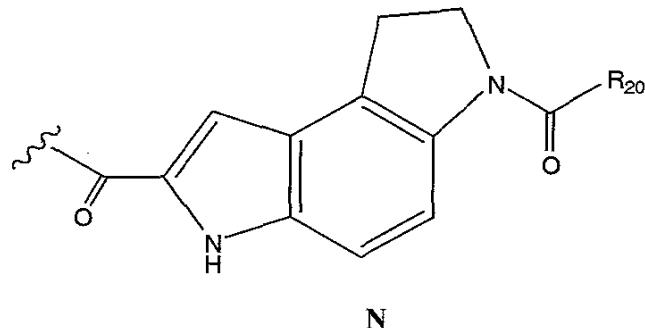
$R_{15}$  が第一の N- 置換ピロリジン環に加わる場合は  $R_{16}$  はまた当該第一の N- 置換ピロリジン環に加わり、

$R_{16}$  が第一の N- 置換ピロリジン環に加わる場合は  $R_{15}$  はまた当該第一の N- 置換ピロリジン環に加わり、

$R_{15}$  および  $R_{16}$  が第一の N 置換ピロリジン環に加わる場合は、 $R_{17}$  および  $R_{18}$  は水素であり、

$R_{17}$  および  $R_{18}$  はそれぞれ独立して水素、 $-O-C_1-C_6$  (アルキル) または  $-C_1-C_6$  (アルキル) であり、

$R_{19}$  は  $-C(O)-R_{20}$  または下記構造 N によって表され、



ここで、 $-C(O)$  基は  $R_{19}$  位で第二の N- 置換ピロリジン環 L と直接結合しており、

$R_{20}$  は  $NH_2$  または  $-O-tert-ブチル$  である)。

2. 第一の環として A 及び第二の環として D を有する、請求項 1 記載の化合物。
3. 第一の環として A 及び第二の環として E を有する、請求項 1 記載の化合物。
4. 第一の環として A 及び第二の環として F を有する、請求項 1 記載の化合物。
5. 第一の環として B 及び第二の環として D を有する、請求項 1 記載の化合物。
6. 第一の環として B 及び第二の環として E を有する、請求項 1 記載の化合物。
7. 第一の環として B 及び第二の環として F を有する、請求項 1 記載の化合物。
8. 第一の環として C 及び第二の環として D を有する、請求項 1 記載の化合物。

9. 第一の環として C 及び第二の環として E を有する、請求項 1 記載の化合物。
10. 第一の環として C 及び第二の環として F を有する、請求項 1 記載の化合物。